

# 高齢者施設を訪ねて「音楽を通じたふれあい交流会」

教育課程上の位置付 総合的な学習の時間

## 実施概要

今回、初めて訪問した施設は、学校の徒歩圏内に近年できた高齢者施設です。施設5階のホールで音楽交流会を行いました。まず、生徒が振り付きの校歌を披露しました。その後、学校が持ってきた数種類の打楽器による合奏や利用者一人一人と向かい合って行う手遊びをして、楽しいふれあい交流ができました。

- 活動参加者** 当校 生徒…19人 担当教員…8人
- 交流先** 利用者…30人 担当職員…5人
- 交通手段** 当校と秋月との距離はおよそ550m  
徒歩で訪問 約10分



校歌に振りをつけて歌います

## 活動報告 実施日：9月29日(金)

前半は生徒の歌の披露で、校歌に振りを付けて歌いました。施設が学校と同じ石神井台という地域にあったことから、利用者から「西村(地名)の子供ね。」という言葉がありました。

後半は、生徒と利用者が一緒に合奏をしました。利用者は一人一人に配られたカラフルなブームワッカーやタンバリン、鈴など打楽器による合奏に、楽しそうに取り組んでいました。次のふれあい手遊びでは、利用者一人に生徒一人が向かい合い、お互いに右手だけに、手袋を付け、「アルプス一万尺」の音楽に合わせて、手遊びをしました。生徒が教えたり、利用者がリードしたり、二人一組の手遊びでは、会話して、一緒に笑い、温かい一体感に包まれました。

最後は全員で「ふるさと」を合唱しました。笑顔のなかに涙をこぼす利用者もいました。利用者の一人からは「生きてきてよかった。ありがとう。」と涙ぐみながらの言葉や、施設長からは、「時間をかけて準備していただいたことがよく分かります。皆さんの優しい気持ちが伝わりました。」という感想があり、生徒の社会貢献活動は和やかな雰囲気の中で終了しました。

### 当日のスケジュール

- 13:10 学校、施設、SSC、都教委4者事前打合せ(1階地域交流室)
- 13:25 生徒が引率教員と秋月に到着 →到着後、5階控室へ移動  
活動の準備  
開会に先立ち、施設より本活動紹介
- 13:40 開会 はじめのことば(生徒) 生徒よりプログラム配付
- 13:45 生徒による歌唱披露
  - ・「都立石神井特別支援学校校歌」(振り付き)
  - ・「With You Smile(ウィズ ユー スマイル)」
- 14:15 生徒と利用者が一緒に合唱、合奏、手遊びで交流
  - ・「We will Rock you(ウィー ウィル ロック ユー)」(利用者生徒が共に演奏)終了後、生徒は利用者の前に移動
  - ・「アルプス一万尺」ふれあい手遊び(利用者と共に手遊び)
  - ・「ふるさと」(歌詞1番を生徒が歌った後、全員で歌う)

- 14:35 おわりのことば(生徒)、施設長より感想、教員より挨拶
- 14:40 閉会 閉会后、後片付け
- 14:45 引率教員と生徒は秋月を学校に向け出発

### ■活動のために準備したもの

- 当日のプログラム(イラスト及び装飾は生徒作成)
- ありがとうカード(文面及び装飾は生徒作成)
- 歌詞(拡大版、貼り付け用)

### ■工夫したところ

打楽器(タンバリン、ブームワッカー、ベル)による器楽演奏や向かい合って行う手遊びを取り入れて、利用者の方々と一緒に活動しふれあうことのできる場面を設けました。

### ■実施にあたって注意したところ

- 慣れない環境であっても生徒ができる限りの力を発揮できるように、普段の授業で積み重ねてきた内容を活動に盛り込みました。
- 生徒が利用者の方々の向かいに移動して行う手遊びの場面では、互いの足元の安全に十分注意して、座席移動を行うようにしました。

### ■良かったと思うところ

- 自分たちの歌唱や演奏、また共に行う活動を喜んでくださる姿を見て、生徒にうれしいと思う気持ちが芽生える様子が見られました。
- 日常的に御高齢の方々とふれあうことが少ない生徒たちなので、地域社会における様々な経験の広がりとなる良い機会となりました。

### ■今後に向けての学校からの抱負

- 今回、活動を受けてくださった施設は、所在地が学校から近距離にあるので、今後も継続的な交流の機会をいただけると良いと思います。
- 音楽的な活動による交流を行うにあたっては、利用者の方々になり深い楽曲を活用する工夫が必要であると思います。

当校は、小学部と中学部を設置する知的障害教育特別支援学校で、地域のセンター校として特別支援教育に関する支援や理解促進を推進しています。社会貢献活動としては、これまで中学部の生徒の就業体験を兼ねて近くの商店街を訪ねた帰りにゴミ拾いをしたり、作業学習ではエコクリーン班がペットボトルや空き缶を潰して、スーパーに持って行ったりすることに取り組んできました。

## 活動の感想

### 生徒・教員の感想

- 生徒**
  - おじいさん、おばあさんに握手してもらって、たのしかったです。
  - がんばりました。
  - おじいさん、おばあさんのアルプス一万尺がすごかったです。
  - 手話をまねしてくれて、うれしかったです。
- 教員**

活動の始めは緊張や戸惑いで練習通りの発表ができませんでしたが、一緒に器楽合奏や手遊びを行う中で生徒たちの表情が次第に和らぎました。「アルプス一万尺」の手遊びは、利用者の方々が生徒をリードしてくださる姿もあり、全員で手話を交えながら歌った「ふるさと」は、思い出深いものとなりました。「おじいさん、おばあさんの所に行ったね」と繰り返し話す生徒もいて、生徒たちの心に印象深く残る活動となったことを感じました。



手遊びは、手袋付けて向かい合って



楽しかったわ。また来てね

### 施設の参加利用者・担当者の感想

- 利用者**
  - 子供たちの合唱や演奏が立派だった。えらいな、と思いました。
  - 一緒に楽器演奏ができて楽しかった。少し若返りました。
  - 子供たちとのアルプス一万尺の手遊びがとても楽しく、子供たち、かわいかったです。
- 施設長**

この度はこのような交流の機会をつくっていただき本当にありがとうございました。特別支援学校との交流は初めてで、認知症がある高齢者の反応が少し心配でしたが、生徒さんたちの頑張る姿勢、優しい気持ちにご利用者だけでなく職員まで涙していました。地理的にもすごく近くの学校ですので、この機会を活かし今後も継続して交流させていただけたらうれしいなと思っています。このような活動は、準備が大変です。関係者の皆様にはお忙しい中ご尽力いただきまして、心より感謝と御礼申し上げます。

### ■実施までの経過 ※(コ)：コーディネーター

- 8月4日 当校担当教員と(コ)、当校にて第1回打合せ
- 8月5日 (コ)、施設に施設長を訪問。趣旨を説明し協力を依頼。施設長快諾
- 8月23日 当校担当教員と(コ)が秋月を訪問。実施内容について説明。施設より快諾  
施設の状況、実施場所を確認。その後、当校にて第2回打合せ
- 9月12日 当校担当教員と(コ)が秋月を訪問。活動当日における具体的な段取りの打合せ
- 9月27日 実施日前々日、当校担当教員が当日使用する楽器など準備物を施設に運搬  
実施決定より担当教員、施設担当者、(コ)で連絡を行い、最終の確認

### 交流先



社会福祉法人さわらび会  
石神井台特別養護老人ホーム  
**秋月**  
住 所：東京都練馬区石神井台6-1-11  
■施設概要  
●特別養護老人ホーム 定員177名  
●短期入所生活介護(ショートステイ) 定員18名